



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

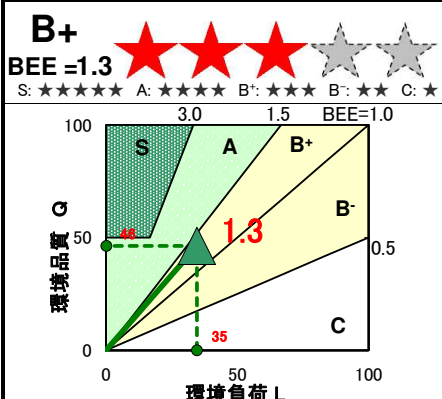
1-1 建物概要

建物名称	学校法人常翔学園 常翔学園中学校・高等学校 中学校東館新築等工事		
建設地	旭区大宮5丁目		
建築用途	大学／中学校・高等学校(部室棟)		
建築主	学校法人常翔学園		
設計者	(株)服部建築事務所		
敷地面積	9,174.14	m ²	
建築面積	722.19	m ²	
延床面積	3,084.58	m ²	
構造/階数	S造	/	地上6階
完了年(予定)	2022年12月		

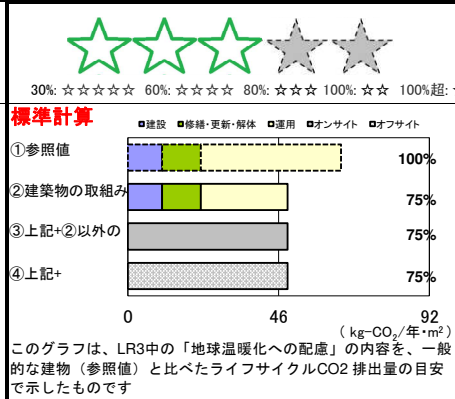
1-2 外観



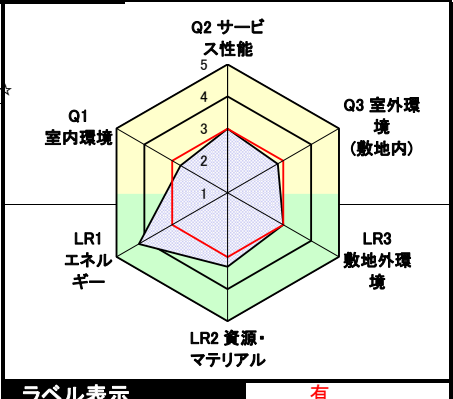
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



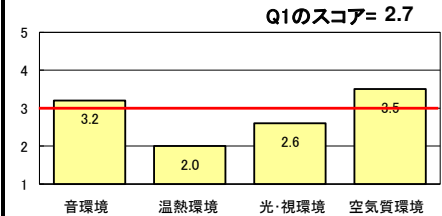
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



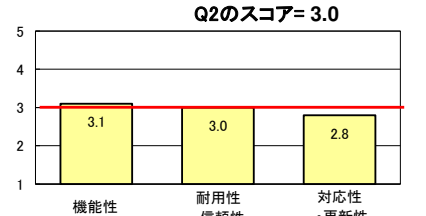
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

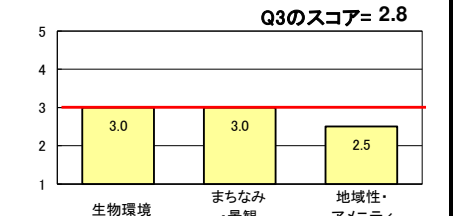
Q1 室内環境



Q2 サービス性能

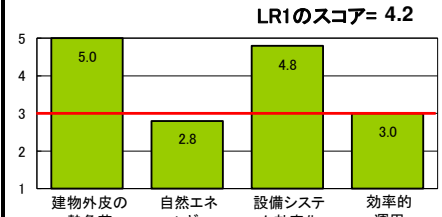


Q3 室外環境(敷地内)

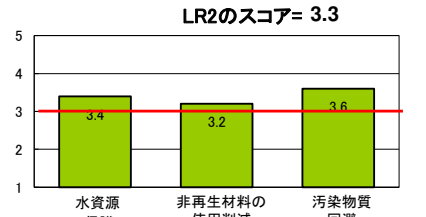


LR 環境負荷低減性

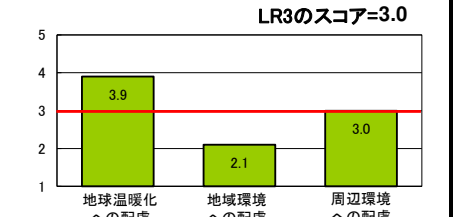
LR1 エネルギー



LR2 資源・マテリアル



LR3 敷地外環境



3 設計上の配慮事項

総合

熱負荷の抑制や設備システムの効率化により省エネルギー化を図り、節水型機器の使用や有害物質を含まない材料を使用するなど環境負荷の低減に努めた。

その他

特になし

Q1 室内環境

各部室間の壁は、天井裏にまで壁を接する事で、騒音の抑制に努めた。また、6階の音楽練習場には、床組材に遮音性の高い鋼製床組材を使用する計画とし上下階の騒音振動の抑制に努めた。

LR1 エネルギー

外装材にはALCパネルを設けるなど、建物の熱負荷抑制に努めた。

Q2 サービス性能

水回り等の内装材は、メンテナンスがしやすい防汚性の高い仕上材を床、壁に設けている。

LR2 資源・マテリアル

節水型便器の採用により水資源保護や、LGS壁の採用により再利用可能性向上に努めた。

Q3 室外環境(敷地内)

計画建物は敷地の南側に配置し、グラウンドを北側に配置することで北側の隣地への日影影響の軽減した。南側の敷地境界周辺に植樹帯を計画することで室外環境の向上に努めた。

LR3 敷地外環境

適正な屋外照明とし、敷地外環境への光害に配慮した。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.3

ラベル表示



環境性能	評価点
(1)CO2削減	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR3/ 1 / / 地球温暖化への配慮	3.9
配慮事項	特になし

環境性能	評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策	2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	概要記入欄
Q3 / 1 / / 生物環境の保全と創出	3.0
Q3 / 3 / 3.2/ 敷地内温熱環境の向上	2.0
LR3/ 2 / 2.2/ 温熱環境悪化の改善	1.0
配慮事項	特になし

環境性能	評価点
(3)建物の断熱性	5.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 1 / / 建物の熱負荷抑制	5.0
配慮事項	特になし

環境性能	評価点
(4)エネルギー削減	5.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 3 / / 設備システムの高効率化	4.8
配慮事項	特になし

省エネルギー基準計算結果

基準
適合状況

適合

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること（新築時）
 （基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること）

外皮性能	住宅部分（品確法等級） - (相当)	非住宅部分[BEI][BEIm] 0.70
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEIm] 0.62	住宅部分[BEI] - 非住宅部分[BEI][BEIm] 0.62